

同窓会報

第 21 号

編集・発行
千葉北高等学校
同窓会事務局
印刷 (南)宮坂印刷

創立三〇周年にむけて ご挨拶



同窓会長
妹尾 篤人
せの お かつ ひと

同窓会会員の皆さまには、
ご健勝で、ご活躍のこととお喜
び申し上げます。

昭和から平成に元号が変わっ
てから早いもので十六年が経ち
ました。母校にも今春、平成生
まれの子供達が入学いたします。
年月の経過というものを感じて
おります。

少子化が進む中であって、千
葉北高は一学年八クラス三二〇
人という状態を保っております。
千葉県内におきまして、私立
高校が台頭する時代にあって、
千葉北高は中堅校としてその地

位を保っていると言えると思
います。

これは、現在、千葉北高に勤
務されている学校長を始めとす
る教職員の方々、PTA、後援
会等の外郭団体のご努力、そし
て何よりも在校生の皆さんの活
躍により、千葉北高が高い評価
を受けているものと思っております。

千葉北高としては、一時一学
年十クラス四五〇人という編成
となっておりましたが、その当
時と比べれば学年一三〇人減と
いうことになりました。卒業時の
一括納付による会費により運営
を行っている同窓会としまして
も、年々増加する会員に対し、
会費収入が縮小傾向にあるとい
うことで、運営の見直しを順次
図っているところでございます。

現在、事務局を中心に同窓会
のホームページ開設について、
検討を行っております。会員数
が一万人を超え、毎年発行して
いる同窓会報の郵便料が同窓会
の運営に大きなし掛かっている
とあり、将来的な同窓会のあり
方を含めて見直しが必要である
と考えております。この点につ
きましては、来年度の定期総会
における審議を目指して、事務
局において検討を行っております。

母校、千葉北高校もいよいよ
創立三〇周年を迎えようとして
います。大きな節目を迎えるに
あたり、学校は基より、PTA、
後援会と一体となって、記念事
業等について話し合っていくと
しております。

具体的な内容につきましては、
これからの話し合いにより決定
していくこととしておりますが、
基本線といたしまして、三〇年
の記録をきちんと残すこと、在
校生を対象とした記念講演会
(または芸術鑑賞会)等の開催

ということを中心に行うだけで
質素に行いたいと考えています。
卒業生が参加する機会を作られ
ばとも考えておりますが、具体
的なことはこれからの協議とな
りますので、今回は三〇周年記
念事業の計画があるということ
をお伝えするところまでとい
します。

また、三〇周年を迎えるとい
うことで、千葉北高の第一期生
が昨年八月に、卒業以来初めて
の学年同窓会「一期生の集い」
を開催いたしました。当時の先
生方を交え、千葉北高校創設時
の話で大いに盛り上がりまし
た。

今までも、同窓会としまして
は学年同窓会の開催を支援する
ために、年間予算に「同期会費」
という項目立てて計上を行って
いましたが、中々実現すること
ができませんでした。今回の一
期生の集まりを契機として、各
卒業期毎に学年全体の同期会が
開催されることを期待しており
ます。千葉北高の卒業生が一つ
の輪となって、今後も協力を
いただければと願っております。
最後となりますが、今年も五
月に母校「北友館」において、
同窓会の定期総会を開催する予
定です。卒業生の皆さん久しぶ
りに母校を訪ねてみませんか。

ご 案 内 平成16年度

千葉北高校同窓会総会

毎年5月第4日曜日は同窓会総会の日です。
今年も下記のとおり行いますので、ご参加
ください。

記

日 時 5月23日(日)
開 会 午後1時
受 付 12時30分より
会 場 千葉北高等学校内
北友館(1階)

平成十五年度

同窓会総会報告

平成十五年五月二十五日(日) 千葉北高校セミナーハウス「北友館」において、第二十六回定期総会が開催され、活動報告・会計報告などが滞りなく議決されました。

平成十四年度活動報告

平成十四年度活動報告では、
(1) 同窓会長期活動計画の樹立

(2) 母校への側面的支援を図る(三十周年記念事業をみづめて)

(3) 外郭団体との協調を図る

以上三点を軸に、

(1) 同窓会財政の見直しとムダのない活動の展開
(2) 同窓会報の内容充実と広報のあり方の検討

(3) OB会との連携と事務の円滑な運営



▲ 関本 克己名誉顧問

(4) 同窓生との交流親睦を「十四年度重点目標」としました。

四月七日(日) 第一回役員会(総会準備等)を千葉市内で、五月二十六日(日)は第二十五回定期総会を北友館にて行いました。

九月十四日(土)には第二回役員会(北斗祭一般公開日)、



十月五日(土) 第三回役員会、十月二十七日(日) 第四回役員会、十一月二十三日(土) 第五回役員会(OB会連絡協議会準備)をそれぞれ行いました。

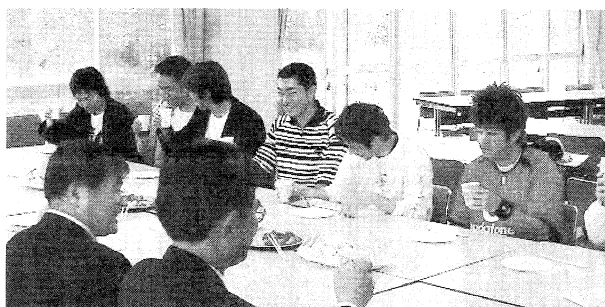
十一月三十日(土) 幹事会OB会連絡協議会を千葉市「ホテルサンガーデン千葉」にて開催、八期生石和田研二さん(よこはま動物園ズーラシア勤務)の講演等があり、三月六日(水)北高体育館において第二十六期生入会式を行いました。

平成十五年度活動報告

平成十五年度活動報告としては、基本方針として「三十周年記念事業」を、母校への側面支援の重点としてとらえています。

重点目標は十四年度と同じです。五月四日(日) 第一回役員会(総会準備等)を千葉市内で、

五月二十五日(日)は第二十六回定期総会を北友館にて行いま



▲ 総会後の懇談会

した。

九月十三日(土)には第二回役員会(北斗祭一般公開日)、十月四日(土) 第一回事務局会議、十月十八日(土) 第二回役員会、十一月十五日(土) 第二回事務局会議(OB会連絡協議会準備)をそれぞれ行いました。

十一月二十九日(土) 幹事会OB会連絡協議会を千葉市「ホテルサンガーデン千葉」にて開催し、一期生から二十六期生までの同窓生の交流を行いました。

三月八日(月) 北高体育館において第二十七期生入会式を行いました。

▼ 平成15年度OB会連絡協議会



平成十六年度活動計画(案)

平成十六年度活動計画として、基本方針は十五年度と同じですが、重点目標に「会報とホームページによる広報の検討」を加えます。

四月二十四日(土)に第一回役員会を、五月十五日(土) 第一回幹事会、五月二十三日(日) 第二十七回定期総会(千葉北高校「北友館」、十一月二十七日(土) 幹事会OB会連絡協議会(千葉市内)、三月八日(火) 第二十七期生入会式(千葉北高校)をそれぞれ予定しています。

平成14年度決算報告書

(2002.4.1～2003.3.31)

収入の部 (一般会計)

項 目	収入済額
会 費	1,413,000
繰越金	853,200
雑収入 (預貯金利息)	33
計	2,266,233

同窓会特別活動基金

項 目	収 入
繰越金	4,951,475
雑収入 (預貯金利息)	1,375,488
計	6,326,963

合 計 8,593,196

前年度比で +2,219,504円

支出の部 (一般会計)

項 目	支 出
事務運営費	412,176
事業費	1,379,544
慶弔費	152,000
同窓会特別活動費	0
同期会費	0
予備費	0
計	1,943,720

同窓会特別活動基金支出なし

差引残額 6,649,476
うち 一般会計残額 322,513
特別会計残額 6,326,963

平成15年度予算書

(2003.4.1～2004.3.31)

収入の部 (一般会計)

項 目	予 算 額
会 費	1,440,000
繰越金	322,513
雑収入 (預貯金利息)	37
計	1,762,550

同窓会特別活動基金

項 目	予 算 額
繰越金	6,326,963
雑収入 (預貯金利息)	1,000
計	6,327,963

合 計 8,090,513

前年度比で +819,755円

支出の部 (一般会計)

項 目	予 算 額
事務運営費	375,000
事業費	1,282,000
慶弔費	100,000
同窓会特別活動費	0
同期会費	5,000
予備費	550
計	1,762,550

同窓会特別活動基金支出

項 目	予 算 額
特別活動事務運営費	150,000
特別活動事業費	6,177,963
計	6,327,963

差 引 残 額 0

平成十五年度

◎OB会連絡協議会開く

一九八六年から同窓会部活動等のOB会代表との連携を図ることを目的に始まった「OB会連絡協議会」ですが、ここ数年はOB会の活動が停滞気味でなかなか代表者との交流がむずかしくなっているのが実情です。

しかし、これでよしと考えるのではなく、同窓会事務局からの働きかけを大切にしようという心がけています。

十五年度は十一月二十九日の土曜日、午後五時から千葉市中央区のホテルサンガーデン千葉で開催しました。同窓会事務局は今年度の協議を「創立三十周年に向けて、学校との意志疎通をはかる」ことを第一に考えて準備しました。

当日は妹尾会長・土屋副会長をはじめ事務局スタッフが出席しました。一方、学校からは高橋衍校長・高仲教頭・中村事務局長・岡西総務部長の四名が参加してくださいました。高橋校長は学校創立三十周年記念事業の案として、(1)記念誌及び同窓会会員名簿の刊行 (2)芸術鑑賞会(生徒向け)に合わせて簡素な記念式典の実施 (3)会費制での

祝賀会を考えている旨説明がありました。これに対し妹尾会長も「同窓会の役割として準備に前向きに関わりたい」と応じました。

この他十五年八月に第一期生

千葉北高校第二期生のつどいを開催して

第一期代表幹事 山中 宏

同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

私は、学校中を駆け巡って活動していた高校時代の背景を、今でも夢で見る時があります。

その夢のような、郷愁いざなう催しが開かれました。

平成十五年八月三十日(土)午後二時より、第一期生同期会が、千葉スカイウインドウズ23階・東天紅にて開催されました。

この構想は一年前より、妹尾篤人同窓会会長、土屋誠さん、佐藤明子(旧姓矢島)さん、と私の、元生徒会役員だった四名で立案され、計画を練り上げて行きました。

当日は同期生、先生方あわせて七十名が顔を合わせました。

山下卓理(現プロ司会者・元

のつどいが卒業二十五周年を記念し行われたことについて山中宏代表幹事より事務局への感謝のことが述べられ、関本克己名誉顧問は「良い試みとして評価したい」と激励されました。

C組旧姓林)さんの司会により始まった宴は、すぐに盛り上がり、見事に進行していきま

した。出席した同期生の顔は、真に快活だった高校時代を彷彿させる顔でした。

卒業から二十五年を経て見る友の顔は、今も皆若々しく、女性

性はさらに美しくなっておりました(本当です！)。

何十年経っても、高校時代の面影、特徴、癖・しぐさは同じ

だなく、感激した次第です(あちこちで、かつてのニックネー

ムで呼び合っておりました)。

先生方は、若干の白髪が混じって

おられました。皆様お元気

で、第一期生一同は、大変嬉しく

思いました。後半では先生方から一言ずつ、

ご自身の近況などをお話しして頂きました。

二時間があっという間に過ぎ、最後に記念写真を撮りました。

名残惜しくも、次回の再会を期待して閉会となり、またクラスによっては二次会へと向かいました。

今回の同期会開催に際しては、一部同窓会予算からの援助を頂きました。

誠にありがとうございました。

最後に北高全ての先生方、各期卒業生の皆様、ご多幸、益々

のご発展をお祈り申し上げます。

編集後記

風薫る季節になりました。ごぶさたしておりましたが第二期生一号同窓会報をお届けいたしました。当同窓会も一万一千名以上の会員を数える大きな組織になりました。賑やかなことはたいへん喜ばしいのですが、その連絡先を把握していくことや郵便物を発送することが大きな負担になって来たのも事実です。

昨今の活字離れを追いかける訳ではないのですが、同窓会では普及著しいインターネットを利用して同窓会報の電子化、また会員相互の連絡のためにホームページ開設を計画しています。インターネットの利便性はど

とも認めるところでしょう。特に発送作業が必要ないということは、手間と費用を大きく節約することができま

す。連絡事項を逐一掲示できることもメリットのひとつです。

一方、活字媒体たる同窓会報を単純に予算の都合でなくしてしまつて良いものか、という声もあります。「印刷物が醸し出す雰囲気には独特の味わいがあるもの」そんな感覚もあながち懐古趣味とは言え

ません。みなさんのご意見は

いかがでしょう。いづれにしても、同窓会を組織たらしめるためにその根幹をなす通信手段ですので、多面的な視点に立った慎重な協議が必要

(福)

